

「現役の経験知が生きた」

吉田 豊

小生が居住している地域は雨水と家庭雑排水の排水路は別である。即ち雨水、雑排水分離経路である。都会では一緒になっている部分が多いのではないだろうか。我が家の周辺の側溝は雨水だけである。従って普段は乾燥している。ところが先日、その側溝に水が流れていた、少しだが変だなと思った。その後、数日間観察した。変だと思いながら川上を点検した。ある地点から水を認めた。そして、原因は家庭ではなく、水道管だと推定し、水道局に連絡した。担当者は周囲を点検しながら水を掬い上げ薬品を添加した。「水道水だね」・・・多分、硝酸銀溶液で塩素を確認したのだろう。そこから聴診器の様な器具で地面を聴音した。ある地点で「ここだ」と判定。翌日から工事があり、漏水は停止した。昨年、道路工事があり、その際に水道管にひびが入ったようだ。水は大切な資源でSDGsでも重要な課題である。業務上の経験知が生きた。ところで日本の漏水率の低さは世界トップレベル！

現在、日本の水道普及率は98.0%に達しています。また、日本の水道システムは普及率だけでなく、漏水率の低さも主要先進国の中で1、2位を争っています。漏水の主な原因は水道管の老朽化です。日本の上水道漏水率は10%以上の自治体もありますが、全国平均では約5.0%と海外の都市と比較して低い漏水率を実現しています。

それでも「お水」は大切に！